

秋田の風

日銀秋田支店長コラム

この夏、念願であった秋田の祭りに予定が許す限り出かけ、その熱気を浴びた。土崎港曳山まつりに始まり、秋田竿燈まつり、大曲の花火といった全国的に有名な祭りやイベントに加え、各地の味わいのある祭りまで。残念ながら7月の記録的大雨により綴子神社例大祭の太鼓の出陣行列などは中止となったが、来年はぜひ拝見したい。いずれも心動かされるものがあり、今なお心地よい余韻が続いている。文化や技術の伝承を含め、運営に尽力された方々に感謝をお伝えしたい。

奥羽山脈、鳥海山、白神山地に囲まれた土地だからだろうか、専門家ではない筆者の目に

観光資源としての祭り

も、秋田の祭りは多様性に加え地域の独自性が色濃く残っているように映った。本来、多くの祭りは五穀豊穡などを願う神事であり、観光資源として捉えるのは筋違いのように思う。しかし、秋田において、祭りは既に県外や海外の方々を引きつける強力なコンテンツとなっている。この夏も多くの観光客が集まり、若い世代の姿も目立

た。秋田の祭りを観光資源としてあらためてみたとき、県外や海外の観光客にとって、アクセス面のハードルの高さが最大の課題になるだろう。特に地方の祭りでは会場近くに宿を取るのには至難の業であり、秋田市内に宿を取ったとしても会場までの移動手段と時間が問題だ。レンタ

カーは自由がきくが渋滞と駐車場に悩まされ、お酒が飲めないため地元は飲食需要を取りこぼすことになる。アクセスしづらいのが魅力と主張してもよいが、お客さまである観光客の目線では、何か工夫できることはないだろうか。

また、秋田の祭りについて、アクセス面を含めて一元的に情報の収集や手配ができるウェブサイトにあれば観光客は助かるだろう。少なくとも、秋田の祭り観光のハブ機能を近隣他県が担うような状況にはならないようにしたい。

アクセス向上の工夫を

つていた。秋田市内の宿泊施設は会場から遠く離れていても高水準の予約が続き、県経済にとって個人消費を中心に大きなブ

カーは自由がきくが渋滞と駐車場に悩まされ、お酒が飲めないため地元は飲食需要を取りこぼすことになる。アクセスしづらいのが魅力と主張してもよいが、お客さまである観光客の目線では、何か工夫できることはないだろうか。

また、秋田の祭りについて、アクセス面を含めて一元的に情報の収集や手配ができるウェブサイトにあれば観光客は助かるだろう。少なくとも、秋田の祭り

秋から冬にかけても県内各地で魅力的な祭りやイベントが開催される。筆者も精力的に出かけたい。



片桐大地・日本銀行秋田支店長

〈随時掲載〉